

米子をエンジョイしている人々

よなごびと 第七回

鳥取県立米子白鳳高等学校 郷土芸能部

鷺見 すみ 穂華 ほのか さん



やっててうれしいのは、お客さんの反応、それとおもしろいお弁当です！

鷺見さんは、鳥取県立米子白鳳高等学校に通う3年生。淀江さんこ節に惚れこみ、郷土芸能部に所属して練習を重ねながら、毎週のように介護施設や百貨店などで演技を披露しています。

米子市無形民俗文化財でもある淀江さんこ節は、今から300年以上前に始まったといわれています。舞台と客席の一体感を生む、ユニークなお座敷芸らしい情緒が特徴です。

鷺見さんが淀江さんこ節に触れたきっかけは、高校入学時の部活紹介。先輩が笑顔で演技をしているのを見て興味を持ったという鷺見さんは、すぐに体験入部し、その翌日には入部を決定。それから約2年間、郷土芸能の存在や演技の楽しさ、そして自分たちの活動をもっと知ってもらいたいと日々奮闘しています。

淀江さんこ節のやりがいについて尋ねると、「お客さんとの一体感が生まれ、いい反応をもらえたときが一番うれしい」と答えた鷺見さん。続けて、「ただ同じくらい嬉しいのは、演技終了後にもらったお弁当がおいしかったときです」と、笑顔で冗談めかしました。

奮闘が実を結びつつあり、最近では地域や企業等からの出演オファーも増えているそう。「もっと多くの方に知ってもらいたい。私たちの演技を見かけたらぜひ足をとめて、楽しんでほしいです」とあふれんばかりの意欲を見せます。

「淀江傘」浜干しとのコラボの様子



さまざまな役割を部員で協力しながら演技します



米子市の人口と世帯数 平成31年3月末日現在（住民基本台帳による。） ※（ ）内は前月比
人口 147,503人（-836人） 男性 70,184人（-473人） 女性 77,319人（-363人） 世帯数 66,549世帯（-134世帯）

■編集発行／米子市総務部秘書広報課／〒683-8686 米子市加茂町1-1／☎23-5372
Eメール kouhou@city.yonago.lg.jp ■毎月1日発行 ■印刷／合同印刷株式会社

米子市役所（代表☎22-7111）